

# 沖縄県DX推進計画 PDCA検証結果 | 概要 (対象年度:令和5年度)

< 2025/XX/XX >  
企画部デジタル社会推進課



## INDEX

1	沖縄県DX推進計画概要	P3
2	PDCA検証方法	P4
3	(1) 検証結果   評価視点1 各取組の進捗状況	P5
	(2) 好事例	P6
	(3) 新規・変更・終了の取組、遅れの状況	P8
	(4) 進捗状況ダッシュボード(部局別)	P9
4	検証結果   評価視点2 沖縄21世紀ビジョンへの貢献	P10
5	検証結果   評価視点3 DX推進の取組状況	P11
6	計画の更なる推進に向けて	P15



# 1 沖縄県DX推進計画概要

## <背景>

- デジタル技術は、社会課題の解決や経済・産業構造の変革等を図り、持続的発展を実現するために欠くことのできないツールとなっている。
- 沖縄県では、沖縄のあるべき姿/ありたい姿を描いた「**沖縄21世紀ビジョン**」の実現に向けて、「**新・沖縄21世紀ビジョン基本計画/実施計画**」をデジタル技術の面から支え、DX関連施策の計画的かつ総合的な推進を図るべく、令和4年9月に「**沖縄県DX推進計画**」を策定した。

## <DX関連施策の推進>

- 行政だけでなく、福祉、医療、教育といった生活、観光、商工、農林水産といった産業の**3つの分野**ごとに、DX関連施策を推進する。
- 知事を本部長とする**沖縄県DX推進本部**のもと、**外部デジタル人材**の専門的な知識経験も活用し、DX関連施策を推進する。



## 2 PDCA検証方法

### <概要>

- 沖縄県DX推進計画においては、DX関連施策の着実な推進を図るため、PDCAサイクルによる検証や取組の改善を毎年度実施する。
- 今回、令和5年度における取組について、3つの視点により検証を実施した。

### <3つの視点>

- 評価視点1では、各取組の進捗状況を評価する。評価視点2では、沖縄21世紀ビジョンの実現と本計画の関係を整理する。評価視点3では、DXの推進に向けた体制整備、ITシステム基盤構築・運用体制の整備状況等を評価する。

#### 評価視点1 各取組の進捗状況

##### <概要>

- 各取組の進捗状況を5段階で評価するとともに、課題を踏まえた今後の取組方針、改善策等を整理する。

##### <評価方法>

- 取組所管課にて、活動指標の実績値を算出、それを元に進捗状況を評価する。
- 評価は、順調、概ね順調、やや遅れ、大幅遅れ、未着手の5段階とする。

#### 評価視点2 沖縄21世紀ビジョンへの貢献

##### <概要>

- 沖縄21世紀ビジョンとの関係性を意識した計画の推進に向けて、将来像ごとにDX関連施策の紐付きを整理する。

##### <評価方法>

- デジタル社会推進課にて、各取組の性質や新・沖縄21世紀ビジョン基本計画等を踏まえ、将来像との紐付きを整理する。

#### 評価視点3 DX推進の取組状況

##### <概要>

- DX推進体制やITシステム基盤の構築・運用体制の整備、国の自治体DX推進計画への対応状況等について、評価項目を設定の上、評価する。

##### <評価方法>

- デジタル社会推進課にて、評価視点1の評価結果等を踏まえ評価する。
- 評価は、レベルA、B、C、D、Eの5段階とする。

### 3 (1) 検証結果 | 評価視点1 各取組の進捗状況

#### <概要>

- 評価視点1に基づく検証では、本計画施策集に掲載する166の取組(再掲を除く)のうち、進捗状況が「順調」あるいは「概ね順調」となった取組は151件であり、全体の91.0%を占めていることから、令和5年度における取組は総じて順調であったものと判断できる。  
しかしながら、「大幅遅れ」となった取組が12件、全体の7.2%あることから、改善を図る必要がある。
- 改善に向けては、今回の検証において把握した課題等を踏まえ、各取組を所管する所属において改善策の検討・整理を行ったところであり、次年度においては、各所属の改善策を推進するとともに、CDO補佐官やDXアドバイザーチームといった外部デジタル人材を活用しながら、事務局が各所属に積極的にアプローチし、課題解決に向けた技術的助言、好事例などの情報提供等の支援を実施していく。

分野	順調		概ね順調		やや遅れ		大幅遅れ		未着手		合計	
	件	割合	件	割合	件	割合	件	割合	件	割合	件	割合
生活	53	76.8%	6	8.7%	0	0.0%	10	14.5%	0	0.0%	69	100%
産業	47	82.5%	5	8.8%	3	5.3%	2	3.5%	0	0.0%	57	100%
行政	39	97.5%	1	2.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	40	100%
合 計	139	83.7%	12	7.2%	3	1.8%	12	7.2%	0	0.0%	166	100%

## 3 (2) 好事例

### 生活分野 | 離島ICT利活用人材等高度化事業

(企画部 地域・離島課)

#### <取組内容>

- 離島住民を対象にテレワーカー等として育成することで、離島に住み続けながら沖縄本島や本土企業から業務を受注することを可能とし、遠隔不利性を解消し収入源の確保を図る。

#### <R5年度活動概要/R6年度改善案>

- R5年度は、登録済テレワーカー(R5年度末時点・累計797人)を対象に高度人材育成研修や、テレワーカー・業務発注側事業者向け説明会等を開催し、テレワーカーの業務受託を促進を図った。
- R6年度は、複数の島をまたいでキーパーソンとなり得るテレワーカーを育成するとともに、様々な業務を取り扱えるよう引き続きプラットフォームの高度化を図る。

#### <イメージ/進捗状況>



説明会開催数 **70**回  
目標達成度 **233%**

進捗状況: **順調**

### 産業分野 | データに基づくターゲットマーケティングの推進

(文化観光スポーツ部 観光政策課)

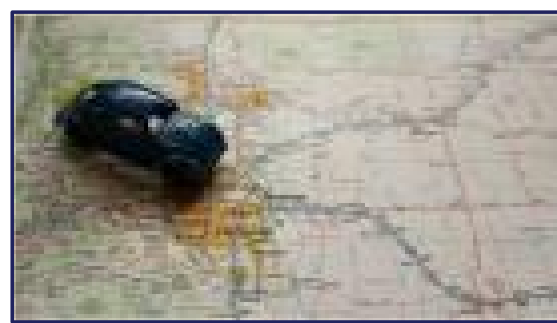
#### <取組内容>

- 観光客が訪れた観光地や観光ルート、滞在時間などの人流データを収集し、居住地、性別、年齢の属性別、季節毎に行動歴等の調査分析を行い、データを活用したターゲットマーケティングの推進を図る。

#### <R5年度活動概要/R6年度改善案>

- R5年度は、スマートフォンアプリからGPS位置情報データを収集するとともに、収集したデータを調査分析することにより、ターゲットマーケティングへの展開に繋がった。
- R6年度は、関係機関ヒアリングにより、訴求ポイント、データ分析軸等を整理し、更なる推進を図る。

#### <イメージ/進捗状況>



データ収集 **165,498**件  
目標達成度 **552%**

進捗状況: **順調**

## 3 (2) 好事例

### 産業分野 | 次世代型環境制御施設等の研究・開発の推進

(農林水産部 農林水産総務課)

#### <取組内容>

- センサーやモニタリング技術を活用し園芸施設内環境の改善を図るとともに、生産現場に導入可能な低コスト園芸施設を開発する。

#### <R5年度活動概要/R6年度改善案>

- R5年度は、環境観測機器を5カ所の優良農家に設置し、年間を通じて栽培環境データの収集と環境制御の効果について解析した。
- R6年度は、環境制御のみならず、光合成等の測定技術に関する専門家等からも知見を収集し、効率的に研究を進める。

#### <イメージ/進捗状況>



産官学連携等  
による研究取組数 **1**件  
目標達成度 **100%**

進捗状況: **順調**

### 行政分野 | 市町村のDX支援(情報システムの標準化・共通化)

(企画部 デジタル社会推進課)

#### <取組内容>

- 県内市町村の自治体DX推進に向けた取組を支援するため、各種研修会やワーキング会議の開催、伴走型支援等を実施する。

#### <R5年度活動概要/R6年度改善案>

- R5年度は、県・市町村連絡会を設置し、全体会及び県内市町村を4グループに分けた圏域ワーキングを実施した。  
また、支援員を選任し、様々なメニューの中から市町村が希望する支援を提供するオンデマンド型支援(対象25町村)や伴走型支援(オンデマンド型支援対象のうち15町村)を行うなど、市町村の取組を促進した。
- R6年度は、より効果的に支援を実施できるよう伴走型の支援を行う市町村を拡大する。

#### <イメージ/進捗状況>



調整会議等 **38**件  
目標達成度 **152%**

進捗状況: **順調**

### 3 (3) 新規の取組・取組名の変更・終了した取組・遅れの状況

#### ■新規の取組(3件)

取組名(担当部局)	概要
財務会計システムの更改 (出納事務局)	新たな財務会計システムに電子決裁機能を追加する。 【補足】 電子決裁導入によるテレワーク対応及びペーパーレス化の推進。
アナログ規制の点検・見直しに向けた規制所管課への働きかけ (総務部・企画部)	アナログ規制に該当する県規制のうち、「条例等に基づいて定めている規制」及び「国の法令等を参照しつつ条例等に基づいて定めている規制」の見直しを促進するため、規制所管課を対象に、課題のヒアリングやデジタル技術利活用検討に向けた技術的支援等を行う。
オンライン委員会の円滑な運営 (県議会事務局)	議員が必要に応じて委員会にオンライン出席するに際し円滑な運営を図ることで、平時・災害時・コロナ禍等にかかわらず議会の機能を維持するとともに、議員としての権限行使の保障を図り県民の負託と信頼に応える体制を整える。

#### ■取組名の変更となった取組(2件)

取組名	担当部局
テレワークによる障害者雇用促進事業	商工労働部
中小企業等経営革新強化支援事業	商工労働部

#### ■令和4年度で終了となった取組(4件)

取組名	担当部局
観光2次交通機能強化事業	文化観光スポーツ部
オンライン研修の推進	保健医療介護部
公営住宅におけるBIMの導入	土木建築部
ものづくり企業がDXに取り組むための啓発活動	商工労働部

#### ■大幅遅れの取組(12件)

取組名	担当部局
赤土等流出防止対策推進事業	環境部
空手に関するアプリケーションの開発	文化観光スポーツ部
インターネットを活用した空手愛好家の交流の促進	文化観光スポーツ部
オンライン研修受講環境整備に対する支援	保健医療介護部
防災危機管理センター棟(仮称)整備事業	総務部
沖縄県総合行政情報通信ネットワーク通信機器改修	企画部
沖縄県総合行政情報通信ネットワーク通信施設改修	企画部
沖縄県生涯学習情報提供システムの整備・充実	教育庁
SNSによる情報発信の強化	教育庁
遠隔利用サービスの充実	教育庁
スマート農林水産技術の実証	農林水産部
リスク分散拠点化の促進	商工労働部

#### ■大幅遅れの要因分類

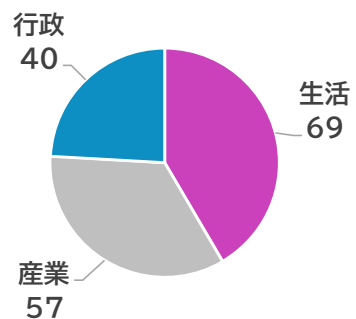
- ・ 情報発信:周知活動、認知度向上に課題があると思われるもの … 6件
- ・ 執行管理:想定を上回る工数増等によると思われるもの … 3件
- ・ 外的要因:不測の事象、外部環境の変化等によると思われるもの … 3件

### 3 (4) 進捗状況ダッシュボード(部局別)

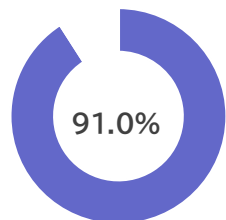
取組数

166

分野別の取組数



順調／概ね順調の取組の割合



部局別の取組数



## 4 検証結果 | 評価視点2 沖縄21世紀ビジョンへの貢献

### <概要>

- 評価視点2に基づく検証では、沖縄21世紀ビジョンの5つの将来像ごとに、DX関連施策・取組がどのように紐付いているか整理した。DX関連施策・取組の推進を図ることが5つの将来像の実現に重要と考えられる。
- 令和5年度におけるDX関連取組の進捗状況のとおり、沖縄21世紀ビジョンの実現に向けたデジタルによる貢献についても順調と言える。
- 引き続き、沖縄21世紀ビジョンへの実現に向け貢献すべく、DX関連施策の計画的かつ総合的な推進を図る。
- 進捗状況が芳しくない取組についての改善を図るとともに、新たに実施すべき施策・取組の企画立案にも注力していく。

#### 将来像1

沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島を目指して



- 関連するDXの取組18件
- うち順調／概ね順調15件・83.3%

#### 将来像2

心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して



- 関連するDXの取組20件
- うち順調／概ね順調17件・85.0%

#### 将来像3

希望と活力にあふれる豊かな島を目指して



- 関連するDXの取組94件
- うち順調／概ね順調90件・95.7%

#### 将来像4

世界に開かれた交流と共生の島を目指して



- 関連するDXの取組11件
- うち順調／概ね順調10件・90.9%

#### 将来像5

多様な能力を発揮し、未来を拓く島を目指して



- 関連するDXの取組23件
- うち順調／概ね順調19件・82.6%

## 5 検証結果 | 評価視点3 DXの推進の取組状況

### <概要>

- 評価視点3に基づく検証では、経済産業省「DX推進指標」、(株)デジタルトランスフォーメーション研究所「自治体DX調査報告書」を参考に、(1) DX推進体制の整備、(2) ITシステム基盤の構築・運用体制の整備、(3) 国の自治体DX推進計画への対応といったDX推進に向けた取組の進捗状況について、レベルA～Eの5段階※で評価した。  
※ レベルA:定着/十分な水準、レベルB:継続して実施、レベルC:限定的に実施、レベルD:検討中/準備中、レベルE:未実施

### <(1) DX推進体制の整備>

- 評価項目「ビジョンの共有」、「トップのコミットメント」及び「推進・サポート体制」については、沖縄県DX推進本部会議の開催、本計画の策定、CDO補佐官やDXアドバイザーチームといった外部の知識経験を活用できる機会の提供といった取組の実施状況を踏まえ、レベルB「継続して実施」との評価となった。
- 評価項目「人材育成・確保」については、人材育成計画等が未策定といった状況であることから、レベルC「限定的に実施」との評価となった。
- 令和6年度においては、人材育成計画等の策定を進め、より体系的な取組を実施する必要があると考える。

### <(2) ITシステム基盤の構築・運用体制の整備>

- 評価項目「DXを支えるITシステム基盤に関する方針」については、情報システム基本方針には全体最適やDX推進は加味されていないこと、ITシステム整備に関するロードマップ等が未整備であることから、レベルC「限定的に実施」との評価となった。
- 評価項目「ITシステム構築のプロセス」については、システム構築／調達に係る情報システムガイドラインは存在するものの、一部内容が古いままであることから、レベルC「限定的に実施」との評価となった。
- これらの改善に向けて、令和6年度においては、全体最適の観点から全体方針の検討を進める必要があると考える。

### <(3) 国の自治体DX推進計画への対応>

- 評価項目「情報システムの標準化・共通化」及び「行政手続きのオンライン化」については、伴走型での市町村支援を行っていること、評価項目「マイナンバーカードの普及促進」については、出張型申請受付など申請の機会創出に取り組んでいること、評価項目「情報セキュリティ対策」については、CSIRTの運営や職員研修等に取り組んでいることを踏まえ、レベルB「継続して実施」との評価となった。
- 評価項目「AI・RPAの利用推進」及び「テレワークの推進」については、活用は一部の所属・職員にとどまっていること、評価項目「公金収納におけるeLTAXの活用」については、県税の一部の税目の活用にとどまっていること等から、レベルC「限定的に実施」との評価となった。
- 今後は限定的に実施している取組を中心に、取組の推進を検討する必要があると考える。

## 5 検証結果 | 評価視点3 DXの推進の取組状況

評価項目		評価内容	評価結果
1_DX推進体制の整備	(1)ビジョンの共有	■DXの目的や必要性、方針について全庁で共有できているか。	【レベルB】 継続して実施
	(2)トップのコミットメント	■DXの推進に向けて、トップによる全庁への発信は行われているか。 ■トップのリーダーシップのもと、組織整備/改革や機運醸成等の取組等が行われているか。	【レベルB】 継続して実施
	(3)推進・サポート体制	■DX推進をミッションとする部署とその役割等が明確であるか。 ■DXの目的に向かって、トップ・事業部門・IT部門が相互に協力するとともに、外部の力も活用した推進体制が整備されているか。	【レベルB】 継続して実施
	(4)人材育成・確保	■職員のデジタルリテラシー向上に向けた取組が行われているか。 ■デジタル技術やデータ活用に精通した人材の育成・確保に向けた取組が行われているか。 ■住民や事業者等の業務内容に精通し、デジタルで何ができるかを理解したDXの実行を担う人材の育成・確保に向けた取組が行われているか。 ※令和6年6月に沖縄県デジタル人材育成方針策定済	【レベルC】 限定的に実施

## 5 検証結果 | 評価視点3 DXの推進の取組状況

評価項目	評価内容	評価結果
2 ITシステム構築・運用体制の整備	<p>(1)DXを支えるITシステム基盤に関する方針</p> <p>■ITシステム基盤に関する全体方針は、全体最適の観点に加え、DX推進を見据えた内容となっているか。</p> <p>■ITシステム基盤の整備に関するロードマップは、DX推進に向け投資すべきもの、削減すべきもの、標準化や共通化すべきものが整理されているか。</p>	【レベルC】限定的に実施
	<p>(2)ITシステム構築のプロセス</p> <p>■ITシステムの構築において、現行業務フローやシステムの利用状況、技術の陳腐化の度合い、利用者視点等を加味し、評価・分析等を行うプロセスが整備されているか。</p> <p>■ITシステムの運用において、定期的に利用者視点や技術の陳腐化の度合い等を評価・分析し改善を図るプロセスが整備されているか。</p>	【レベルC】限定的に実施

## 5 検証結果 | 評価視点3 DXの推進の取組状況

評価項目		評価内容	評価結果
3_自治体DX推進計画への対応	(1)自治体情報システムの標準化・共通化	■自治体の情報システムの標準化・共通化に向けた取組状況	【レベルB】 継続して実施
	(2)マイナンバーカードの普及促進	■マイナンバーカードの普及促進に向けた取組状況	【レベルB】 継続して実施
	(3)行政手続のオンライン化	■自治体の行政手続のオンライン化に向けた取組状況	【レベルB】 継続して実施
	(4) AI・RPA の利用推進	■AI・RPAの利用推進に向けた取組状況	【レベルC】 限定的に実施
	(5)テレワークの推進	■テレワーク制度の導入状況/利用推進に向けた取組状況	【レベルC】 限定的に実施
	(6)情報セキュリティ対策	■CISOの任命・CSIRTの設置状況 ■緊急時対応計画(情報セキュリティに関する事故及び障害等が発生した場合の体制と対応手順)の策定状況 ■情報セキュリティ監査・点検の実施状況	【レベルB】 継続して実施
	(7)公金収納におけるeLTAXの活用	■公金収納におけるeLTAXの活用に向けた取組状況	【レベルC】 限定的に実施

## 6 計画の更なる推進に向けて

---

### <改善プロセスの継続>

- 次年度以降も、知事を本部長とする沖縄県DX推進本部のもと、PDCA検証を実施し、課題の共有や更なる計画の推進に向けた協議を行う。
- PDCA検証の際には、DX関連施策・取組の進捗状況などに加えて、前年度検討した改善案の有効性についても検証の対象とすることで、より効果的な改善策の考案、実施に向けたプロセスの定着を図る。
- 検証結果については、県民や事業者等、多様な主体の参考となるよう、引き続き、全面的にオープンにする。

### <DX推進の心得の浸透>

- 令和6年2月に策定した「DX推進の心得7箇条」については、DXに向けて、全庁で推進に向けた考え方、取るべき行動を共有することを目的とするものであり、その定着を図ることは本計画の更なる推進を図るうえで重要であるものとする。
- そのため、知事、CDO又はCDO補佐官による継続的な発信等により、DX推進に向けたビジョン、心得の定着を図り、全庁的なDX推進の機運醸成や主体的な取組の促進につなげていく。

### <職員のデジタルリテラシー等の向上>

- 計画の更なる推進に向けて、外部デジタル人材の力を借りることで、庁内に不足しているデジタル技術に関する専門的な知識経験を補うことは必要不可欠であるが、それとともに、内部人材の育成も重要であることから、職員の能力向上に向けた取組の充実を図っていく。
- 具体的には、沖縄県デジタル人材育成方針に基づき、全職員のデジタルリテラシー向上に向けた階層別研修、DX推進のキーマンの育成に向けたより高度なデジタル技術利活用研修など、体系的な取組を進めていく。